

近世人物誌

西郷隆盛

先よ維新の元勳たり後よ反賊の首將たり陸軍大將の服を着て官兵と鋒を接ふ半生の功業半生の罪惡共に非常にて古今未曾有たり古の奸雄謂へることあり曰く大丈夫芳を百世に流す一と能くされい須らく臭を千載に遺すべしと隆盛一身をこれと兼ねたり後の罪惡や憎むべし前の功業は没すべしとこれを要する不世出豪傑の稱は史家の此人ふ与ふるをたまざる所なり其の行事卓犖傳ふべきもの多し大率世に表著す故に二載せし性甚く獵を好む軍中よ在るの日も往々大を獲へて山野を跋渉し従容閑暇日を消せしといふ其の胸襟の潇洒磊落以て概見すべし此圖は其の獵を赴くさまを畫したるものなり

文字三昧樓主人題す



發行所 東京 京橋区 中野と新聞社 編輯人 中泉政太郎

雙圓活

西郷隆盛17号 文庫10-8617-17

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

